

■開催概要

令和2年2月に策定した「第2次五泉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の推進にあたり、各事業の評価・検証を行うことを目的として開催しました。

意見交換では、4つの基本目標と交付金活用事業ごとに、数値目標・重要業績評価指標（KPI）達成に向けた取り組みの方向性や今後の展開、施策・事業の改善点などについて、ご意見・ご提案をいただきました。

日時	第1回 令和5年7月14日（金）14時～16時05分 第2回 令和5年7月24日（月）14時～16時00分
会場	五泉市総合会館 2階 第1～第4会議室
参加委員	第1回 15名 第2回 16名 （産学官金労言士の各分野計19名で構成）
内容	●説明 （1）五泉市総合戦略について （2）総合戦略の検証方法について ●意見交換 令和4年度事業での「各施策の方向性・取り組みについての意見・提案」

■実施状況



■意見交換「各施策の方向性・取り組みについての意見・提案」

基本目標	意見
I 未来世代を 守り育てる	<p>【基本方針1】妊娠・出産・子育ての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内での婚姻の機会増加に向け、子供ができる前の施策が必要。</li> <li>若者の流出を食い止めるより、進学、就職等で転出した人を戻す施策の方が重要と考える。</li> <li>五泉市で出産・子育て安心して行うための医療環境の整備やケアが必要。</li> <li>近隣の産科医療機関を周知していくことで五泉市で子育てしたい人へ参考となるのではないかな。</li> <li>不妊治療費助成など、まだ認知度が低いと思う事業もあるため、もっと露出度を上げることが必要。</li> </ul> <p>【基本方針2】教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ギフテッド（天才）に特化した教育や、アーバンスポーツ等に特化した教育・環境整備を行うことが、他自治体との差別化になるのではないかな。</li> <li>水や土塔の自然環境は地域資源であり、地域の特色であるため、総合学習支援事業で取り組んでほしい。</li> <li>総合学習で学んだ歴史や産業が触れられるようなイベントなどを継続的に行うことが、子どもたちの学びを深め、更に地域の産業、観光にも繋がっていくと考える。</li> </ul>
II 産業の活力を 高める	<p>【基本方針1】地場産業の振興・産業競争力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農産物代金で収益になるかという点、価格低迷や資材高騰で厳しい状況。食料安全確保のためにも、国の施策の中で全面的な支援が必要。</li> <li>半農半Xを推奨することにより、農業参入の拡大、市内はもちろん市外・県外から、特に関東圏から五泉市への移住を推進できるのではないかな。</li> <li>農地集積は先祖から預かった土地ということもあり、簡単に国の言うような形の中で農業者に農地集積してリスク分散しながら農作業すればいいということではない。個々のタイミングを見ながら進めていくしかないのではないかな。</li> <li>もみ殻を堆肥にしやすくするために燃やしてから撒く方が良いと聞く。市でもみ殻を燃やす施設整備を検討する余地はないかな。</li> <li>J-クレジットに認証された取り組みの中でもみ殻があったかと思う。地球温暖化やカーボンニュートラルの観点から、J-クレジットをうまく取り込むことも検討されたい。</li> </ul> <p>【基本方針2】就業環境の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有効求人倍率実績値で0.8%と出ているが、肌感覚では人手が足りない。企業と求職者の職種、業態のミスマッチがあると考え。</li> <li>五泉市は飲食関係の起業が多いが、近隣他市に比べ、五泉市は商売の町ということもあり、飲食のニーズが多く、飲食の商売がしやすいというイメージがある。</li> <li>大きい企業が来れば雇用の場は出来て、他の地区から働きに来てそのまま定住するのは望ましいが、地場の産業は困るのではないかな。</li> <li>五泉市は地域で社会福祉法人が頑張っていることもあり、社会福祉法人、JAとの連携の中で農福連携を進めている方向感間違いなくあっていい。それが他地域と異なる視点になるのではないかな。社会福祉法人が大事な地域の財産だと受けとめて、農福連携を通したまちづくりは大事な方向感だと考える。</li> </ul>
III 五泉の魅力を つなげる	<p>【基本方針1】地域の特性を活かした交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>廃校や空家を宿泊施設として整備することにより、インバウンド需要が見込まれると考える。国の補助金等を活用して整備していくのも良いのではないかな。</li> <li>インバウンド誘致については、地場の観光事業者などと連携しながら一緒にコンテンツを考えてほしい。</li> <li>廃校に宿泊、調理、入浴、洗濯、AV機器などの設備を整備し、合宿誘致に活用すれば合宿に来る学校が増えるのではないかな。</li> <li>廃校を使ってイチゴを生産している企業がある。そういった需要がどれくらいあるかではあるが、廃校の活用方法のひとつではないかな。</li> </ul> <p>【基本方針2】地域の魅力を活かした移住の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウェルカムファミリー住まいる事業は、市外にも認知されてきており、なおかつ五泉市の土地の値段も安いということで、活用されている。継続した事業実施をお願いしたい。</li> <li>よほどの魅力がない限りは、市外の方に五泉市に足運んでもらうというのは、なかなか難しいのが現実。五泉市が住みよくて定住を促していけるように、関係機関協力し、話し合いながら少しずつ良くしていければ良い。</li> <li>空家については、個々の所有者の考え次第だと思うが、行政がリフォームなど支援し、空家を活用できるようにしても良いのではないかな。</li> <li>地域おこし協力隊において特定のジャンルに特化させるコンテンツを作ってはいかがか。</li> </ul>
IV 確かな暮らしを 充たす	<p>【基本方針1】未来へつなげる安全・安心なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通救命講習を受け、AEDを使いたくても置いてある場所が限られるというのが現状。集落センター等にリースで置くなどAEDを置く場所を増やしていただくと良い。</li> <li>普通救命講習の受講者にマイ消防団パスポートのような特典があったほうが、ただ受講を促すよりは効果があると考え。ただ、協賛企業にとっては対象人数が増えると大変になると考えるため、表裏一体ではある。</li> <li>新潟大学の中でビックデータアクティベーション研究センターが設立。その中には医学部の医療データに基づいた健康増進を研究されている先生もいる。そのデータが医療だけでなく、新たな魅力づくりや他の暮らしに役立つと思うため、将来的に検討してみたいかな。</li> <li>ごせんまるごとヘルシーガイドブックは今の世帯状況や日常生活を前提としたものでないと実現性が少ないため、検討してほしい。</li> <li>がんだけに特化するのではなくて血液・循環器血管等を含めて早期発見、早期治療に繋げる検討を行ってほしい。</li> </ul>
交付金活用事業	<p>【ラポルテ五泉管理運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市外の人だけでなく、五泉市民が使うことも交流人口の拡大になるかと思う。幅広い層の市内外の人にも来てもらい口コミで広がって、そこから更にラポルテ五泉以外に広がってほしい。</li> <li>イベント時に来館者は多いが、普段どうするかが重要。PRもSNSを使って、もっとやってもいいのではないかなと思う。良い施設なので、自信を持ってPRしてもらいたい。</li> <li>物販の販売額は、目標の来場者に対する目標の販売数だと、客単価の設定が高いと思われる。この目標自体が高すぎるのではないかなと考えるが、実際にこの単価を設定しないと運営上が成り立たないのか、それともこの販売額目標自体を見直してもう少し下げた設定も検討が必要ではないかな。</li> <li>カフェはおしゃれなものが多くとても良いが、ちょっとしたおにぎりとか、豚汁、うどん等、そういう簡単なものが食べたいという意見も聞く。五泉市の人も普段からラポルテ五泉で食事をするような町に密着したメニューがあっても良いと思う。</li> </ul>
総合戦略全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>五泉市は電波状況が悪すぎる。電波状況をよくすることで五泉市への懸念材料が少しでもなくなるのであれば、少しお金をかけてもいいのではないかな。</li> </ul>